



わかば

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

「イワシの日」

十日前の、10月4日は、イワシの日でした。1（イ）0（ワ）4（シ）と読むそうです。

イワシという魚を漢字で書くと、魚編に弱「鰯」と書きます。海水から揚げると、すぐに弱ってしまうから、ヨワシがイワシになったという説があります。また、昔は、貴族の食べ物ではないイヤシイ魚とされていたことからイワシになったという説もあります。

さて、「イワシの頭も信心から」（つまらないものでも、信仰の対象となれば有り難いと思われるようになるというたとえ）ということわざがあり、これはカルタの一枚にもなっています。信ずれば神様と同じようにありがたいという事のようにです。

鬼は七輪で鰯を焼く煙と臭気を恐れるといい、節分の日には、焼いたイワシの頭を柵（ヒイラギ）の枝にさして玄関の飾り物にして置くと、鬼が来ないと言われていました。

イヤシイ魚とされ大変安く売られていたイワシ。栄養豊富なため、江戸時代には、貧しい庶民の冬場の健康を支えていたとも言われています。

バザーご協力の御礼とご報告

先月16日に開催された日本人学校バザーに際し、保護者の皆様には多大なるご協力をいただき誠にありがとうございました。おかげさまで\$11,000に迫る収益をあげることができました。本収益金は、「より良い学校運営を実現するための資金」「学校授業用備品購入」「各種学校行事を実施するための費用」「借用校への寄付」等、として活用させていただきます。

バザー寄贈品から学校図書へ！

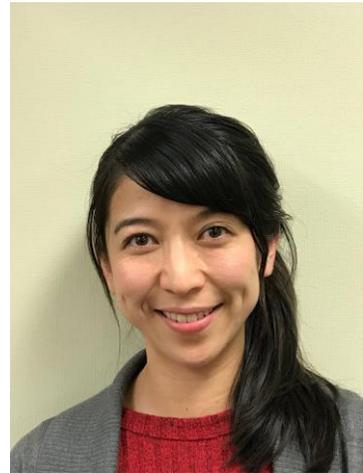
上に記事があります通り、保護者や企業の皆様のご協力をいただき、大盛況のバザーでした。書籍に関しましては、毎年、学校図書に加えたい本も多くご寄贈いただいております。このため、図書委員の方をお願いして、販売せずに直接学校図書に加える本を選んでいただいております。本年は以下の本を学校図書に追加させていただきました。ご寄贈下さいました皆様、選定にご協力下さいましたバザー図書担当ならびに図書委員の皆様には厚くお礼申し上げます。

- | | | |
|----------------|----------------|--------------------|
| 1 わたし | 2 あれこれたまご | 3 あなたのいえ わたしのいえ |
| 4 絵の中を旅する | 5 木を植えた男 | 6 こころのふしぎなぜ？ どうして？ |
| 7 ことわざ絵本 | 8 はじめての文学 | 9 ハリーポッターと不死鳥の騎士団 |
| 10 完全なる首長竜の日 | 11 なぞなぞ3, 4年生 | 12 トッカン 特別国税徴収官 |
| 13 10分読める伝記2年生 | 14 10分読める伝記3年生 | 15 怪談レストラン シリーズ |
| 16 まほう駅前多田便利軒 | 17 恐竜たんけん図鑑 | 18 こども図鑑 くさはな |
| 19 こども図鑑 どうぶつ | 20 世界の国ぐに探検大図鑑 | 21 学習まんが 日本の歴史シリーズ |
| 22 日本昔ばなし101 | 23 はじめての伝記101人 | ほか10冊 |

新しい先生の紹介！

ジンケ 恵理 先生（小学部3年2組担任）

この度、小学部3年2組の担任になりました、ジンケ恵理です。お茶とサッカーの町、静岡県藤枝市で生まれ育ちました。もちろん、緑茶の愛飲者です。米国での生活はもうすぐ十年ほどになりますが、ポートランドには今年の一月に引っ越してきました。マウント・フッドを目の前にしたとき、「なるほど、これがオレゴンの富士山か」と、懐かしいような感動にとらわれたことを覚えています。こちらに来る直前ハワイに住んでいたこともあり、四季の変化がこれほどまでに美しいのかと、再発見する日々を送っています。



日本では、進学塾の講師として国語と英語を教えておりました。大学ではスペイン語を専攻し、米国の各地、メキシコやキューバに一人旅したこともあります。それらの経験から、日本を外から見る機会に恵まれ、自然と言葉に対する感性が磨かれました。日本人学校では、日本語の持つ響きや美しさ、おもしろさを、生徒のみなさんとたくさん共有したいと思っています。将来子どもたちに、「日本人学校に行ってよかったなあ」と思ってもらえるよう、精一杯努めたいと思います。みなさま、どうぞよろしくお願いいたします。

児童生徒の作品

平和について

6年 黒堀 紗加

今年で戦後72年を迎えた日本は、戦争のない社会となった。機械の自動化や科学が発展し、中国など海外との貿易も盛んになったことで、今を生きる私たちの暮らしはとても楽に、快適になっている。

しかし、その工場からの排気ガスや、家を建てるための森林伐採などで地球に害が出ている。私は、国と国、人と人が仲良くするだけが平和ではないと思う。人と自然、人と地球が良い環境になってこそ本当の平和だと思う。

地球の始まりは森と海からである。そのおかげで、そのころは空気も景色も美しい、争いのない世界だった。しかし、人間がこの地球に生まれ、森を切り開き、海をうめ立て、もともとあったものを壊してしまった。それは、私たち人間が地球を壊していると言い切ることができるほどだ。平和とは、自然が美しいままに保たれていることだと思う。地球の木を切り倒したり、工場などの排気ガスを出し過ぎると、空気が悪くなる。そして、結局は人間にも害が出るのだ。人と地球は一体なのだ。

さらに、広島に落とされた原子爆弾は広島の人々に大きな被害を与えた。一しゅんで多くの人々の命をうばった原子爆弾は、自然にも被害をおよぼした。少量の放射線ならそこまで害はないが、この時の放射線はそれをはるかにこえていた。木や湖などにも影響が出た。

私の考える平和とは、人と地球とがおたがいに良い環境のまま過ごすことだ。地球の美しい自然を残しておきたい一方で、家や建物を建てる材料や、場所のために自然を壊さなければいけない。私たちはこのような問題を変えつつも、少しでも未来を良いものにしようとして努力し、今、この時間を過ごしていかなければならない。